

2020 年度受賞者の活動報告

2020 年度の京都大学久能賞を受賞させていただき、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。今年 1 年間の活動成果をご報告させていただきます。

研究開発においては、小型のマイコンボードを使ったコンテストでグランプリをいただくことができました。長引く自粛生活において、自宅での仕事や勉強の際に作業効率の向上と健康面をサポートしたいという思いから開発に取り組みました。外の天気を BGM として感じることができ、ポモドーロテクニックや顔ヨガなどで気分転換を促すことにより、集中力をアップさせる機能を盛り込みました。また、学部二年時の電気電子回路演習の授業内でおこなわれた回路を使った開発と発表においても、優秀賞をいただきました。

さらに夏休みの間には、アイルランドの大学附属語学学校でのオンライン留学を体験しました。英語のコミュニケーション能力をつけることを目的としていましたが、アイルランドの歴史や魅力、さらに地球温暖化を取り上げたトピックもあり、とても興味深かったです。また、そのオンライン授業では偶然にもポモドーロテクニックを使っている授業が行われており、海外での新しいオンライン授業のやり方や、自身の研究開発の必要性も実感することができ、貴重な経験となりました。

中高生女子の理系選択を応援する「KufeL」の活動については、昨年度に引き続きプログラミング教室などを対面で実施するのは非常に困難でした。しかし、鎌倉 FM で理系分野と生活の関連について解説している「理系の森」さんとのコラボレーションで、小学校でのロボットプログラミング教室の開催のお手伝いをすることができました。また、ロボカップジュニア京滋奈ブロック大会ではボランティアスタッフとして大会運営に携わりました。さらにオンラインでの活動では、昨年度に引き続き京都大学 11 月祭でプログラミング体験動画の企画を実施し、また、遠隔でサポートしている女子高校生がプログラミングを使った電子工作のコンテストでアイデア賞を受賞することができました。これに加え、理系科目におけるジェンダーギャップを解消するために活動している一般社団法人の Waffle さんとの意見交換会や、同じくお茶の水女子大学の支援団体との活動検討会の機会を設けることができ、他地域で活動する皆さんと繋がることができました。

久能賞の受賞は、開発や活動を資金面で支えていただいているだけでなく、私の活動を幅広く知っていただく広報にもなってくれています。受賞を“ザッツ京大”に取り上げていただき、さらにその記事をきっかけとした取材も受けており、活動を継続していく上で大きな後押しとなっています。京都大学で科学・技術分野を志す女子学生に、継続してのご支援をしてくださる久能様に心から感謝を申し上げます。また、支えてくださった京都大学の関係者の皆様にもこの場を借りてお礼を申し上げます。これからも京都大学での学びを、好奇心を持って楽しみ、社会貢献に繋がられるよう精進していきたいと思っております。

工学部 電気電子工学科 阿部玲華